

## 大（応）神塚古墳（寒川町No.8 遺跡）保存目的のための調査概要

遺跡の名称	大（応）神塚（寒川町 No. 8 遺跡）
調査実施日	令和 3 年 3 月 3 日（水）～3 月 31 日（水）（内 15 日間）
所在地	高座郡寒川町岡田 2385
調査機関	寒川町教育委員会 教育総務課
調査担当	小林秀満
調査面積	約 19.5 m <sup>2</sup> （トレンチ 3 カ所）
調査原因	保存目的
発見遺構	弥生時代：竪穴住居 古墳時代：古墳前方部墳丘、前方部東側溝（周溝） 近代：土坑
出土遺物	弥生土器片、土師器、須恵器、銅銭

## 調査成果

大（応）神塚古墳は、寒川町指定重要文化財第 19 号であり、町内唯一の墳丘を保った古墳である。明治 41 年（1908）、東京帝国大学の坪井正五郎氏を中心とした発掘調査が実施された他は、昭和 57 年に神奈川県教育委員会において測量調査を実施したのみである。これらの調査から、前方後円墳であり、5 世紀ごろの造築であろうとされている。

しかし、明治期の調査であり、遺物の出土状況、古墳の範囲や周溝の有無、構築の年代や方法など不明な点が多いのが現状である。

今回、古墳の形態や、範囲、構築年代などの古墳の性格を把握し、今後の保存方法検討のための基礎資料とするための調査を実施した。

本年度は、前方部の範囲や性格の把握を目的として調査を実施した。

前方部の南北方向（長軸）、東側、南端に幅 2m 長さ 6.5m、約 13 m<sup>2</sup>でトレンチを設定した（1TR）。しかし南端に樹木があり現存の前方部の墳丘端を確認することが難しいため、長軸東側に南端に幅 1m 長さ 2.5m でトレンチを設定した（2TR）。また前方部の東側面に周溝確認のため東西方向で幅 1m 長さ 4m でトレンチを設定した（3TR）。

また、1TR 内長軸に沿って 1m 幅でサブトレンチを設定し、墳丘の築造状況を確認した。

以下今回のトレンチ（TR）ごとに確認された事項を述べる。

## 1TR

旧墳丘面と思われる面まで表土を掘削、しかし根等による攪乱が激しいため確認のため東側を 1m 幅でサブトレンチを設定した。サブトレンチ南側は墳丘築造状況把握のため地山と思われる富士黒色土層まで深堀を行った。サブトレンチ北側は前方部内埋葬施設などの把握が可能と思われる層まで掘削を行った。

結果前方部内埋葬施設等は確認されなかった。

深堀トレンチで墳丘築造状況を見ると、おおよそ人為的に層位をもって構築されているのではないかと考えられた。表土、根等による攪乱層下、黒褐色土層、ロームブロックを含む暗褐色土層、粘土を含む層、硬化が見られる層、発泡スコリアを多く含む層、そして地山である富士黒色土層となった。北側ではロームブロックを含む暗褐色土層の部分が、ロームブロックを多量に含む粘土層となっている。少なくとも硬化が見られる層以降は人為的に構築された層と思われる。発泡スコリアを多く含む層は、昨年度の調査時に墳丘土と思われる土層に見られた弥生時代相当層に発泡スコリアを含んだ層に似ている状況であった。

またサブトレンチ内から弥生時代と思われる住居址が確認された。

## 2TR

前方部長軸方向墳端を確認のためトレンチを設定した。墳丘裾がコンクリートに覆われており、墳丘部しか掘削することはできなかった。今回のトレンチ内では墳丘裾や周溝相当の溝等確認されることはなかった。長軸（南北）方向に墳丘が伸びていた可能性が高い。墳丘築造状況は発泡スコリアを含む層が富士黒色土層上に見られた。上層にはロームブロックを含む層も見られた。

## 3TR

前方部の側面を確認のためトレンチを設定した。トレンチ全体が周溝相当の溝ではと思われた。墳丘側から東側へ下りの傾斜が見られた。東側は崖状となるため周溝状に墳丘反対側は溝の立ち上がりが無い可能性もあると思われた。これは平成29年度の前方部の状況と同じである。

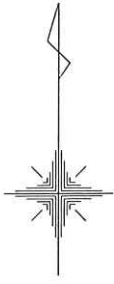
トレンチ西端、墳丘側に墳丘の立ち上がりと思われる部分が見られた。しかし、大部分が中世以降に掘削された部分であり、墳丘の原型はたもっていないように思われた。それでも溝の下面は一部残っていると思われ、おおよそその墳丘立ち上がりの位置は把握されたかと思われた。

## まとめ

今回の調査目的である、前方部の把握であるが、長軸方向の墳端はつかむことはできなかったが、東側側面はある程度確認することができた。また前方部の墳丘築造状況もある程度確認することができた。

前方部の墳端からは周溝相当の溝が確認されなかったため、前方部は南側へ延びる可能性が高くなった。

今後東側で確認された前方部東側の墳丘裾と、平成29年及び令和元年度に確認された墳丘裾の位置を検討することにより墳丘の大まかな形状が把握できると思われる。



平成30年度

平成29年度

令和元年度

令和2年度

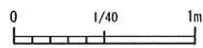
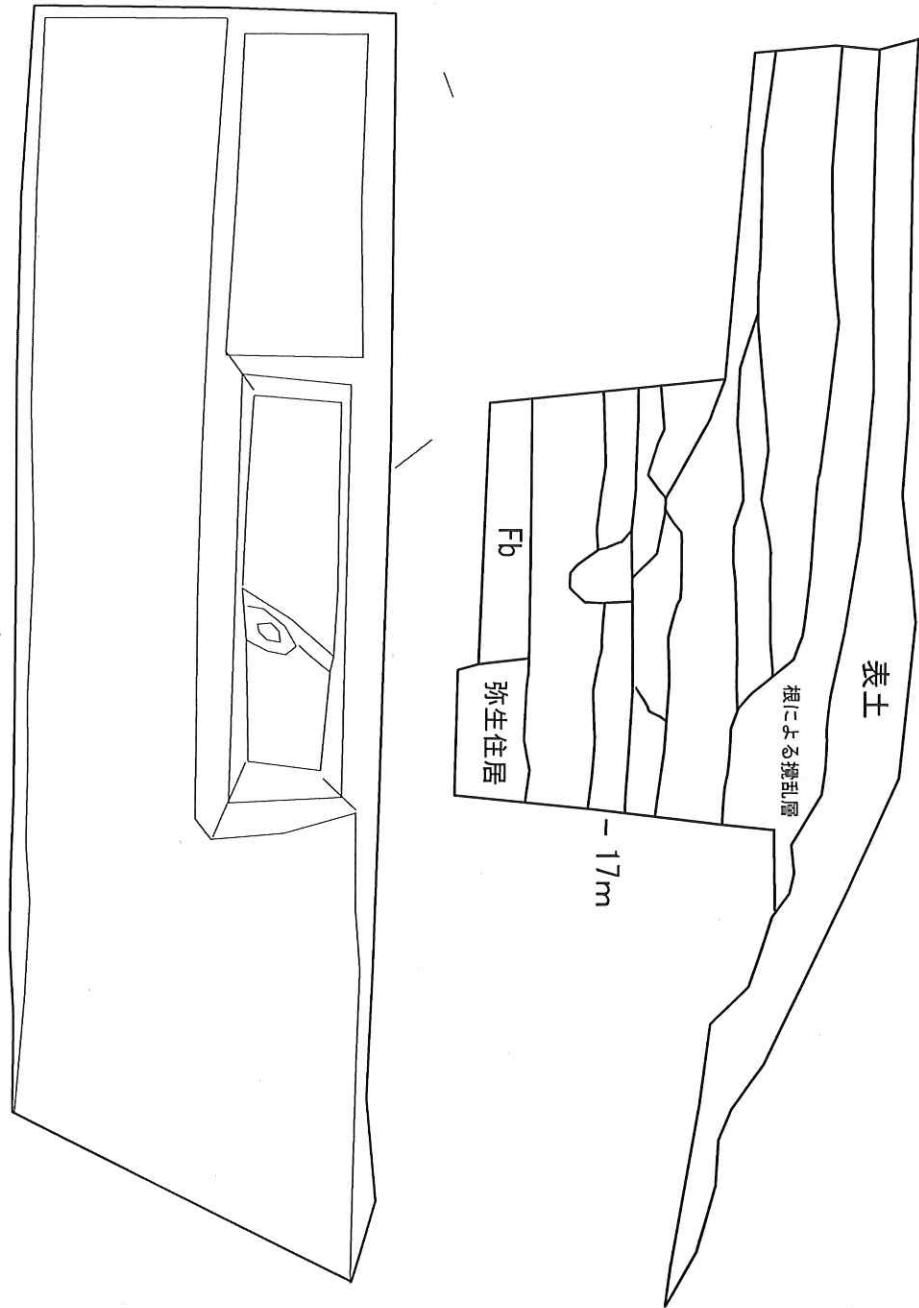
1TR

2TR

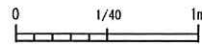
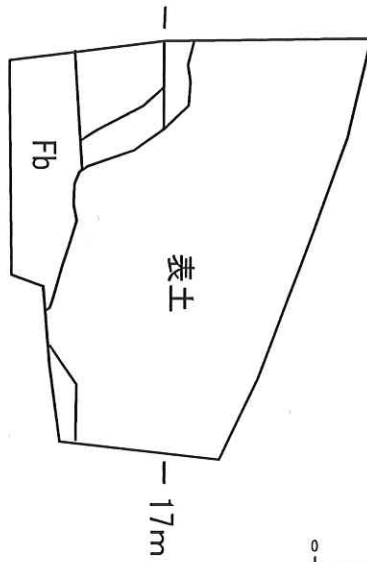
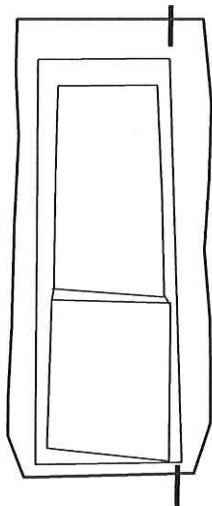
3TR



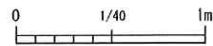
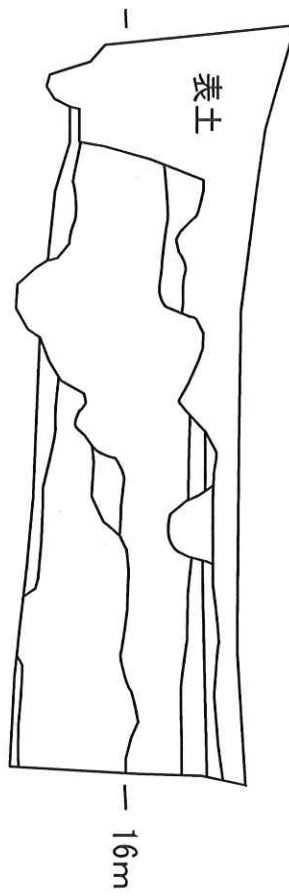
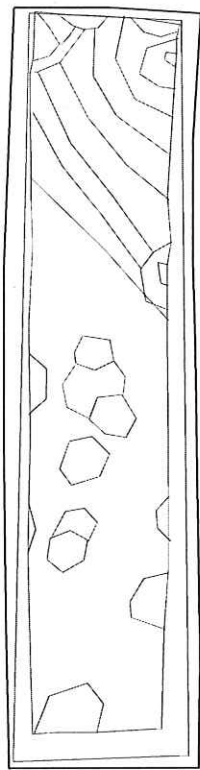
令和2年度1TR平断面図



令和2年度2TR平断面図



令和2年度3TR平断面図



令和 2 年度大（応）神塚調査写真



調査区全景 前方部南から



第1トレンチ 全景



第1トレンチ 前方部中央墳丘堆積状況





第 2 トレンチ 前方部先端墳丘堆積状況



第 3 トレンチ 前方部側面裾周溝相当落込